

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等		目標の内容・実績				
【法人名】 公益財団法人 埼玉県芸術文化振興財団	目標	収支比率 毎年度50%以上 【算出方法】 事業にかかる経常費用に占める 事業に係る経常収益の割合	有料公演チケット販売率 毎年度80%以上 【算出方法】 販売設定した席数に占める販売 席数の割合	公演満足度 毎年度90%以上 【算出方法】 公演の鑑賞者に行ったアンケート 結果において、回答数に占める、大 変満足及びやや満足と回答した数 の割合	施設利用率 ○ 埼玉会館 毎年度75%以上 ○ 彩の国さいたま芸術劇場 毎年度85%以上 【算出方法】 利用可能日数に占める利用日数の割合	施設利用満足度 ○ 埼玉会館 毎年度90%以上 ○ 彩の国さいたま芸術劇場 毎年度90%以上 【算出方法】 施設利用者に対して行ったアンケート結果 において、回答数に占める、大変満足及び やや満足と回答した数の割合
	各年度の実績	【令和2年度実績】 23.4% 【令和3年度実績】 76.9% 【令和4年度実績】 70.9%	【令和2年度実績】 72.1% 【令和3年度実績】 82.5% 【令和4年度実績】 87.5%	【令和2年度実績】 98.0% 【令和3年度実績】 97.5% 【令和4年度実績】 97.2%	【令和2年度実績】 埼玉会館 57.0% 彩の国さいたま芸術劇場 63.2% 【令和3年度実績】 埼玉会館 64.5% 彩の国さいたま芸術劇場 82.0% 【令和4年度実績】 埼玉会館 73.6% 彩の国さいたま芸術劇場 84.5%	【令和2年度実績】 埼玉会館 95.1% 彩の国さいたま芸術劇場 96.2% 【令和3年度実績】 埼玉会館 99.5% 彩の国さいたま芸術劇場 97.4% 【令和4年度実績】 埼玉会館 99.6% 彩の国さいたま芸術劇場 96.8%
	法人による自己評価	令和4年度は、舞台芸術作品の 提供等に関する事業として、彩の国 シェイクスピア・シリーズ第36弾 「ジョン王」など、48事業146公演を 実施した。 収支比率については、新型コロナ ウイルス感染症拡大の影響等によ り、1事業3公演が中止となったが、 目標値を達成することができた。 引き続き、経費削減と限られた予 算で効果を出す工夫を施し、高い芸 術性と収支比率のバランスを図って いく。	彩の国シェイクスピア・シリーズ第 36弾「ジョン王」の販売率が95.8%と 高い数値だったことをはじめ、多く の公演で高い販売率となり、目標を 達成することができた。 引き続き、営業や広報活動の充 実等によりチケット販売を手掛けて いく。	当財団は、彩の国さいたま芸術劇 場では「創造する劇場」の理念のも と、世界トップレベルの芸術作品を 創造、発信、提供し、埼玉会館で は、質の高い音楽作品を中心に事 業を実施している。 令和4年度の実施公演において は、目標を達成するとともに、高い 数値を維持することができた。 今後も、多彩で質の高い芸術作 品の提供に努めていく。	令和3年度と比較すると、施設利用率は改 善したが、新型コロナウイルス感染症拡大 の影響もあり、目標値を下回った。 各施設（ホール、稽古場、練習室、会議 室、展示室等）の、抽選で外れた利用希望 者への代替日の斡旋やキャンセル情報の 提供、フェイスブック、インスタグラムなど SNSを活用した情報発信を展開し利用促進 を図っていく。	埼玉会館及び彩の国さいたま芸術劇場で は、施設利用者のアンケート結果等も踏ま え、サービスの向上に努め、いずれの施設 ともに目標値を達成することができた。 引き続き、利用者サービスの向上に取り組 んでまいりたい。 ○令和4年度の利用者サービスの向上事例 (埼玉会館) ・女性用トイレ等に生理用品を設置した。 ・後援申請手続きの押印省略化を実施し した。 ・和室での炭の利用を認めた。 (芸術劇場) ・女性用トイレに生理用品を設置した。 ・共通スペースでの撮影について、利用時 間を拡大した。 ・利用計画書の提出をメール、ファクスでも 受付可能とした。 ・貸館打合せのZoomでの対応を開始した。
【中期経営計画の期間】 令和2年度～令和6年度						